

## 平成27年度二学期終業式 式辞

○今日で二学期が終わります。

中学校一年から高校三年まで、元気でこの場に集まることができて嬉しいです。

二学期は始めと終わりで差異の大きい学期です。始業式は酷暑に喘ぎ、今日の終業式では寒さに震えています。始業式は松柏祭直前で盛り上がり、終業式は試験や課題研究発表で忙しい日々です。皆さんのこの二学期はどうだったでしょうか？

○「未来航路」の課題研究も頑張りました。

操山中学の皆さんは、「未来航路」の一環として、岡山県下、京都あるいは東京に出掛け、「岡山を知ろう」「日本を知ろう」「世界を知ろう」というテーマで各々の課題研究を深めました。中学1年の皆さんは先日、大変素晴らしい発表会を行いました。中学2年・3年は3学期に発表会を行う予定とのことですが、ぜひ頑張ってください。

高校1年の皆さんは課題研究の進め方・考え方について学び、高校2年の皆さんはグループを編成して課題研究を行い、グループごとに岡山大学の先生方や大学院生から助言を受けています。先日は系統別の発表会が行われました。

「何のためにこんな課題研究をする必要があるのか」と疑問・不満に思う人もいるかもしれませんが、私は、このような取組はとても大切であると信じています。

なぜなら、課題研究とは、現在の問題・課題をいかに解決するかを考え、実践する「課題解決の研究」だからです。

「未来航路」で課題研究に取り組む目的は、将来を担う世代としてグローバルな課題に関心を持ち、解決する方法を考えてもらうことにあります。同時に、問題から課題を見出し、誰も解答を知らない課題にも果敢に取り組み、実現可能な解決策を考え出す訓練でもあります。

私は、操山に3年間勤務し、操山の中学生・高校生のよいところを沢山知っています。操山の生徒は資質・能力に優れ、直向きさ、真面目さ、そして優しさを合わせ持っています。しかし、操山の生徒に少し欠けているものも知っています。それは、自分の問題や課題を客観的に把握し、解決し乗り越えていく力ではないかと思います。

○人生は問題・課題に満ちている。

未来航路の課題は、日本やグローバル社会に関するものが主でしょう。しかし、人生では、自分自身の課題や問題にも遭遇します。どのように成績を上げるか、どうしたら志望大学に合格できるか、どの仕事に就けば充実した人生になるか、誰と結婚したら幸せになれるか、などです。

そして、授業で行う英語や数学の問題演習とは異なり、私達が人生や社会で出会う多くの問題には、模範解答は存在しません。自分で解決方法を考えるしかないのです。

大切な事は、人生において、問題が生じることは当たり前であるということです。問題に出会ったときに、驚かない・慌てないことが大切です。

操山中高の校訓である「松柏の精神」は、冬（問題や試練）が来たときにこそ、その人の真価が示されることを教えています。私は、この問題に出会ったのは、自分のせいでも他人のせいでもない。私を鍛えるため、私が新しい大切な事を学ぶためだと考えることにしています。問題に出会うことには、積極的な意味があると考えているのです。

○問題（課題）は何かを客観的に捉える。

問題とは、自分の理想（目標）と現実の差を示します。また、課題とは、問題の中心であり、この課題を解決すれば問題は消失すると考えられるものです。

問題に出会い、解決方法を考え出す秘訣は、課題は何かを客観的に眺めてみることです。私は、多くの複雑な問題に出会ってパニックになりそうな時は、その問題を紙に書き出し

てみる、図式化してみる事にしています。問題を書き出して、距離を置いて眺めてみるのです。自分や自分の問題を客観的に見ることができるのは、人間の精神的な成長の証しであると思います。

○実現可能な解決方法を考え出す。

次に、情報収集をしたり、過去の経験を思い出しながら、解決方法に関する様々な考えや意見を集め、解決方法を考えます。

この時、他の人の意見をきくことはとても大切です。自分の問題を正直に言い表し、他の人の意見や助言を受けることができるのは、貴重な能力であり資質だと思います。

高校2年の「未来航路」はなぜグループ研究かを考えてください。個人研究ではないことに不満な人もいます。しかし、多様なメンバーの多様な意見・考え方の中に、より良い解決方法の萌芽があるのです。意見や考え方の多様性は貴重な資源であると考えてください。また、互いに話し合う中で、議論が高まり、解決探索の質を上げることができます。

高校3年生の皆さんは自分の将来かけて、大学入試という大きな課題に取り組んでいます。どうか、問題に圧倒されずに、時に客観的に考え、自分の解決方法を考え出し、逃げないで取り組んで下さい。

○クリスマスの時期に

今日12月24日はクリスマス・イブですが、キリスト誕生の時期や月日については聖書は何も語っていません。クリスマスがこの時期に行われるようになったのは、ヨーロッパ古来の宗教がこの時期に冬至の祭りを行っていたことから来ているようです。古の人々は、最も夜が長く寒さも厳しいこの時期に、「今日から日は長くなり、やがて必ず春が到来する」と考え、お祝いをしていたのです。

高校3年の皆さんも、今は辛く厳しい時期かもしれません。でも、自分が3ヶ月後、半年後にはどのような生活を送っているか、考えて下さい。その頃、皆さんの多くは、全く新しい環境で新しい仲間達と新しい充実した生活を送っているでしょう。その時の到来を楽しみにしながら、目の前の大きな課題に、最後まで全力で取り組んでください。

中学生そして高校生1・2年の皆さんも、自分自身の課題(宿題だけではありません!)に果敢に取り組み、充実した三学期、そして2016年を迎えて下さい。

それでは、皆さん、良いお年を！